

令和6年度 福島市在宅医療・介護連携支援センター事業計画書

事業項目		計 画	事業内容
①	(ア) 地域の医療・介護資源の把握	情報収集（医療・介護）	・病院MSW(20か所)、包括（22か所）への訪問によるヒアリングの実施。課題の集約 ・県北地域緩和ケア社会資源情報の収集協力。毎年、市医師会を通して発行
		専門職・市民への周知	・病院、包括支援センター、在宅医療・認知症専門医等、居宅、薬局の情報収集とホームページの更新 ・ホームページを中心に各種情報の発信
	(イ) 課題抽出と対応検討	運営協議会意見交換	・運営協議会での活動報告。代表委員からの意見聴取と意見交換（2回/年）
		地域会議への参加（事業・活動についての報告）	・毎月定例会にて業務報告、相談から課題共有 ・オレンジプラン推進委員会ワーキンググループ、福島市介護支援専門員連絡協議会
		関係団体会議へ参加、活動協力	・福島市医療と介護のネットワーク事務局 役員会、定例会 ・他市、他センターの情報交換、視察研修
	(ウ) 切れ目ない在宅医療	在宅医療機関の現状と課題の把握	・市医師会発行「福島市在宅医療ネットワーク」から現状把握 ・在タッチホームページ掲載医療機関へ変更の有無をFAXにて確認
		【課題】 アウトリーチ、同行型支援システムの構築	«事業目的»必要に応じて訪問診療医師、訪問看護師等の専門職を派遣し、同行訪問により在宅療養の開始、継続の支援を行う ・各専門職団体等の理解、協力を得るための働きかけを行い事業開始に向けた基盤を構築 ・フローチャート作成、コーディネート業務準備
		M S Wとの地域医療会議	・M S Wと地域支援についての情報収集と研修企画及び市CWとの研修会 2回/年（6月・9月）
		4つの場面体制構築シート作成	・行政と目標の確認、課題と対応シートを作成
	②	(オ) 相談受付	相談受付・記入・集計
関係機関へ 課題と対応策の提案			・相談内容から在宅医療・介護の課題を把握し行政、他関係機関・団体等への報告、解決策の提案を実施 ・理解と改善につながる研修企画
(キ) 市民啓発		市民向け講演会開催	・第6回市民公開講座 令和7年3月13日福島テルサ予定 7月～企画準備
		市民向けミニ講座 ①「わかりやすい在宅医療のお話」 ②「もしバナゲームをしませんか」③「わたしの人生ノート書き方講座」	・周知方法の拡大（市政だより・ホームページ。もりん体操実施団体への出前講座として位置づける。など）を図り、依頼件数の増加を目指す ・講座の理解度を知るためアンケートを行う ・包括支援センターが開催できるようにレクチャーを継続
		看病講座の支援	・包括支援センターでの開催。開催時期に関しては講師の橋本先生（ふくしま在宅緩和ケアクリニック）と調整
(工) 情報共有の支援		退院調整ルール評価	・モニタリングアンケート調査実施（5月～依頼、7月～9月集約・集計、9月～評価会議準備） ・福島市の結果についてホームページに掲載し周知する
		I C T説明・活用研修会	・MCSを進めていく。研修と活用方法のでまき講座を行っていく。 研修会は医療費、介護報酬算定について説明できる講師へ依頼
		在宅療養支援者確認シート作成	・一人暮らしの方、身寄りのない方の支援チェックシート。
(カ) 研修企画		研修会企画・開催	・認知症支援に関する知識・技術の研修（2回/年、認知症スクリーニング研修、認知症対応カステップアップ研修） ・在宅医療、終末期支援に関する研修（1回/年）
		多職種連携支援	・医療と介護のネットワークで公開定例会にて研修会を行う。テーマは役員会、準備はワーキンググループを中心に行い開催協力。
	【課題】 主任介護支援専門員フォローアップ研修	«事業目的»主任介護支援専門員が必要なスキルを習得することにより地域の社会資源として貢献できるようになる ・講師：特定事業所居宅のケアマネ（予定） ・市と共同で開催 例：新カリキュラム「適切なケアマネジメント手法」	
③	対策の評価・改善	評価指標のデータ収集	評価指標 ①診療所数（ストラクチャー評価） ②退院調整ルール連絡漏れ率（プロセス評価） ③在宅医療の訪問患者数（プロセス評価） ④自宅看取り数（プロセス評価） ⑤自宅死亡率（プロセス評価） ⑥在宅療養希望率（プロセス評価）
		評価と改善の検討	過去5年間の動向を表にまとめる
その他の取り組み	在宅医療の推進	・在宅医療についての勉強会・介護算定表を作成	
	障がい者支援	・障害の分野においても課題の共有を図る	
	医療福祉職人材育成	・講師として依頼を受託し、医療福祉人材の育成に協力する	
	他地域との交流、研修会参加	・県内センターとの情報交換・日本在宅医療連合学会大会7月20、21日（会場参加 幕張メッセ）	